

平成24年1月17日 第1回ガイドライン検討委員会開催

平成24年2月9日 第1回ガイドライン検討小委員会開催（旅客施設編、車両編）

旅客施設編

車両編

平成24年3月 視覚障害、計画論、設備
各WG開催

平成24年5月 意見交換会開催

第1回検討委員会と検討小委員会での意見、各WGでの論点を踏まえ、ガイドライン改正案を提示

平成24年5月22日 第2回ガイドライン検討小委員会開催（旅客施設編、車両編）

検討小委員会での意見を踏まえ、
適宜WG等を開催、改正案の修正

平成24年8月10日 第3回ガイドライン検討小委員会開催
平成24年8月28日予定 第2回ガイドライン検討委員会開催

パブリックコメントの実施

平成24年中の見直しを予定

①バリアフリー化計画論について(車両編と共通)

新たに全体のバリアフリー化計画を示した「整備の理念と施策の考え方」を設け、将来を見据えたバリアフリー整備の基本理念、基本的考え方等。

②施設の特性等に応じたバリアフリー化の拡充

施設の利用特性、主要経路の構造、規模などに応じた、複数バリアフリールート確保や、トイレの機能分散等。

③利用者の変化への考慮

例えば、段差解消をみても、ベビーカー利用やキャリーバッグ使用など、車いす利用者以外にもバリアフリー整備を必要とする利用者層が多様化。また、高齢化等により健康上の問題を抱えた利用者が増加。そのような利用者の増加と多様化に対応したバリアフリー整備。

④視覚障害者用誘導ブロック敷設の記載の追記

階段の踊り場、ホームドア等が整備された駅プラットフォームにおける視覚障害者用誘導ブロック敷設方法について、調査研究の結果を反映。また、⑥に示す「音声・音響案内」との併用を記述。

⑤サインシステムに関する記載の追加

サインシステムに関し、可変式表示の表示内容の優先順位、表示スピード、文書表現など、聴覚障害者や知的障害・精神障害・発達障害者等多様な利用者を想定した配慮について、コラムを追加。

⑥音声・音響案内に関する記載の充実

音声・音響案内(音サイン)計画に関する基礎知識、基本的考え方、視覚障害者を想定した配慮について記述の充実。

○バリアフリー化計画論について記載(旅客施設編と共通)

新たに全体のバリアフリー化計画を示した「整備の理念と施策の考え方」を設け、将来を見据えたバリアフリー整備の基本理念、基本的考え方等。

○鉄軌道車両

①車両の乗降口扉位置の統一

列車間で可能な限り乗降口扉位置の統一を進めることが望ましい旨の記述。

②車いす使用者等の利用スペースの拡充

車いす使用者やベビーカー使用者等が円滑に移動を行うことができるよう、車いすスペースの拡充が望ましい旨の記述。

○バス

①都市内路線バス

都市内路線バス(ノンステップバス)の車内段差や座席の改良を踏まえた記述の改訂。

②都市間路線バス

都市間路線バスにおける乗降用リフトの仕様等の記述。

○タクシー

①ユニバーサルデザインタクシーに関する記述の充実

自動車局における調査研究の結果を踏まえた実車が開発されたことに伴い、ユニバーサルデザインタクシーの要件等に関する記述の改訂。

②乗合タクシーに関する新規記載

自動車局における調査研究の結果を踏まえ、「乗合タクシー」の項目を新設。

○航空機

①車いす使用者に配慮したトイレ

通路が1、客席数60以上の航空機において、車いす使用者がトイレを利用できるようにすることが望ましい旨を追記。